

平成 23 年度 外国人技能実習制度 ベストプラクティス表彰について

日建連・国際委員会では、主として「国際展開推進に向けた人材確保」の観点から、外国人技能実習制度の効果的な活用方策につき、20 年度から海外建設協会と共同で検討を続けてきたところですが、21 年度までの検討成果を踏まえたフォローアップ活動の一環として、本制度の建設業界における普及啓発、活用促進を図るため、22 年度から、本制度の活用に関して積極的な取り組みを行い優れた実績を残している事業者、個人を表彰する「ベストプラクティス表彰」を実施しています。

第 2 回目となる 23 年度の「ベストプラクティス表彰」については、審査委員会（委員長：蟹澤宏剛 芝浦工業大学工学部建築工学科教授）での審査の結果、3 事業者が受賞者として選定され、去る 2 月 22 日に表彰式が開催されました。

【受賞者】

- 日本建設業連合会 国際委員長賞
協同組合中国建設専門工事業協会（広島県）
受賞事業のテーマ：「人材の有効活用を期待しての技能実習生の受け入れについて」

- 特別賞①
松山鋼材株式会社（千葉県）
受賞事業のテーマ：「帰国後の研修生のフォローアッププロジェクト」

- 特別賞②
株式会社ミヤマエ（茨城県）
受賞事業のテーマ：「技能取得の高度化や向上を図る取組み、
並びに 技能実習生の意欲向上を図る取組み」

【表彰式概要】

日時：平成 24 年 2 月 22 日（水） 15 時～17 時

場所：経団連会館 5 階 502 号室

次第：① 主催者挨拶（竹中 国際委員長、海建協会長）

② 来賓挨拶（国土交通省 佐々木 建設流通政策審議官）

③ 表彰

④ 受賞者の挨拶、受賞活動の概要説明

⑤ 講評（蟹澤 審査委員長）

⑥ 講演「日本経済の再生と建設業の展望」

講師：小此木 潔 氏（朝日新聞社 編集委員）

以上